ICT 活用 Tips	データの活用（確率）

何を使う

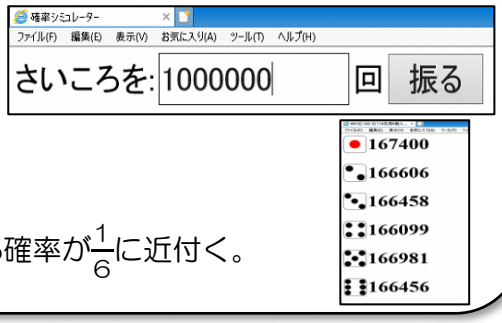
機器　パソコン

ソフトウェア（アプリ）

自作ソフト（HTML 、Javascript）

それをどう使う（それで何ができる）

- さいころを振り、どの目が何回出たのかを表示することができる。
- ファイルを開き、試行回数を入力し、「振る」ボタンをクリックすると、１から６の目がそれぞれ何回出たのか表示される。
- 試行回数が多くなると、それぞれの目が出る確率が$\frac{1}{6}$に近付く。



ここが変わる、活用のメリット【ICT 活用 Before-After】

中学校　数学科「確率」

【 Before 】

◯　実際にさいころを振り、出た目の数を数える。

◯　試行回数が少ないため、教師が結果を教えてしまうことがある。

【 After 】　メリット

◯　少ない試行回数の結果から、少しずつ試行回数を増やしていくことで、さいころの目が出る確率が$\frac{1}{6}$に近付くことから、「同様に確からしい」ことについて実感を伴って理解することができる。

機器（台数）	スマホ	タブレット	ＰＣ	その他	学習場面	一斉	個別	協働
			○					
	提示なら１台、グループでの活動ならグループに１台					○		○

授業実施時に必要な環境→	インターネット接続		１人１台端末	

活用が想定される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	数学
		○			活用が想定される場面	データの活用